

講義名	オ)ベンチャービジネス論				
担当教員	井上 芳郎				
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限	授業形態	講義		
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考	
主題と概要					
我が国の経済が活性化し繁栄し続けるためにはベンチャービジネスの出現や企業のイノベーションが必要です。この授業では豊かな経済を作り出す組織について学びたいと思っています。合わせて、我が国の経済発展の過程を俯瞰しながら、ベンチャービジネスの存在意義とベンチャービジネスに関わる経済政策の推移を考察します。 なお、この授業は、多くの学部学科の学生が履修できる科目です。よって、特定の学部、学科、コースのディプロマ・ポリシーと結びつけて表現することは、あえて避けておきます。ただし、鍵となるのは以下の概念になります。 経済の活性化、繁栄には、ベンチャービジネスの出現、企業のイノベーションが不可欠。 その主体となるのは、いまここに存在する様々な組織（企業、行政機関）であること。 上記をスムーズに実現するためには個々の組織の努力は必要であるが、経済政策の存在も見逃せないこと。 以上を総合して理解していくことが、この授業の主題であり概要です。					
なお、コロナ禍であることを踏まえて、この授業は「対面」と「オンライン」の2つの方法で行われます。「オンライン」授業は、原則として「対面」授業を録画して配信することになります。ただ、事情によっては「対面」と「オンライン」の内容が変わることがありますので、その点は事前に了解してください。具体的には、不可抗力による休講の発生、録画状況の問題発生、等々です。					
到達目標					
ベンチャービジネスに関する基本的な知識、またベンチャービジネスおよび企業経営に関する基本的な知識を理解することを目標とします。合わせて、将来起業したいという学生のために、起業の実現と発展のためのポイントを、教科書を使用しながら学ぶことも目標です。加えて、ベンチャービジネスは国の経済発展において大きな役割を担うことが期待されていますので、その役割を理解することにも、経済政策から展開される諸施策をいかに活用するかを理解することも目標です。 以上を皆さんの立場から「〇〇することができるようになる」という形で表現すると以下ようになります。繰り返しですが、しっかり確認の上で履修登録してください。 ベンチャービジネスに関する基本的な知識、またベンチャービジネスおよび企業経営に関する基本的な知識を理解することができるようになる。 将来起業したいという学生が、起業の実現と発展のためのポイントを、教科書を使用しながら学ぶことができる。 ベンチャービジネスは国の経済発展において大きな役割を担うことが期待されていますので、その役割を理解することにも、経済政策から展開される諸施策をいかに活用するかを理解することができる。 以上、しっかり確認してください。					
提出課題					
レスポンスを通じての「クイズ」は、ほぼ毎回行います。それらはすべて評価に反映されます。レポートも数回実施しますが、原則として、レスポンスを利用します。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック					
個別でのフィードバックは行いません。授業の中で紹介していきます。授業においてレポートの内容などを紹介する場合、原則として個人名を出すことはしません。					
評価の基準					
コロナ禍であることを踏まえ、原則として以下の項目で評価します。 1. 授業への参加状況（貢献度等）／30％ 2. 自発的な課題（レポート、クイズ）に対する評価／40％ 3. 最終レポート／30％ なお、社会情勢の変化によって、評価項目の内容、また評価項目ごとの割合を変更することがあります。その場合は授業及び講義連絡で周知します。 なお、評価基準は、当然ですが「対面」「オンライン」同じです。					
履修にあたっての注意・助言他					
ベンチャービジネスや企業経営にかかわるニュースに関心を持って生活してください。また、そのようなニュースに、授業で学んだことを当てはめる習慣をつけてください。 具体的には、新聞や雑誌を通して、タイミツクな経営を行なっている企業を見つけ、その企業がどのような経営を行っているかを継続的に観察してみるとよいでしょう。さらに進めると、その企業の歴史（企業の経緯、発展の経緯、取扱商品やサービスの推移、市場展開の推移など）を調べてみるのもよいでしょう。企業の現在は過去の延長線上にあります。現状と過去を結合することで企業活動をより良く理解することができます。この手法はベンチャー企業だけではなく、色々な企業の研究にも活かせるはずです。					

教科書				
.起業の科学 / スタートアップサイエンス.	田所雅之	日経BP	2300 + 税	
プリント資料及び参考文献				
* 授業で使用する資料は講義連絡でポータルにアップします。各自、ダウンロードしてください。 * 教科書である「起業の科学」は第一回目の授業から使用しますので、必ず購入して下さい。				
授業計画				
1. 授業のすすめかた、授業の目標を確認 2. 経済の発展と歴史的背景、経済政策の役割 + 「起業の科学」 輪読 3. 経済の発展と歴史的背景、経済政策の役割 + 「起業の科学」 輪読 4. ベンチャービジネスとは + 「起業の科学」 輪読 5. ベンチャービジネスとは + 「起業の科学」 輪読 6. ベンチャービジネスの成功プロセス + 「起業の科学」 輪読 7. ベンチャービジネスの成功プロセス + 「起業の科学」 輪読 8. ベンチャービジネスと資金調達 + 「起業の科学」 輪読 9. ベンチャービジネスと資金調達 + 「起業の科学」 輪読 10. ベンチャービジネスを理解するための経営理論 + 「起業の科学」 輪読 11. ベンチャービジネスを理解するための経営理論 + 「起業の科学」 輪読 12. ベンチャービジネスとリーニャンパス + 「起業の科学」 輪読 13. ベンチャービジネスとリーニャンパス + 「起業の科学」 輪読 14. ベンチャービジネスとビジネスプラン 15. まとめ講義				
< 社会情勢及び授業の進捗によって、一分内容の変更を行う場合があります >				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク	
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク	
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
予習は、配布する資料及び教科書をもとに行ってください。復習で理解を自分のものとするために、レジュメには授業内容で感じたことを自分の手で書き込んでおくことが重要です。特に理論面の講義は他の授業との関連が深いので、他の授業で使ったレジュメや教科書、本授業で紹介する参考文献を積極的に活用して理解するようにしてください。最も好ましいのは、ノートをとることです。復習は、授業内容を書き込んだレジュメ及び教科書をもとに行ってください。また、本授業と実際のビジネスの関係はとても深いものです。新聞やテレビのニュースを見ながら、本授業の知識を思い出して活用するようにしてください。 おおよその予習・復習時間として、予習2時間、復習2時間です。				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
本授業は「商学部・経営学科・ビジネスリーダーコース」と関連が深い科目です。当該コースのディプロマ・ポリシーである、企業経営の仕組みや組織行動について、経営理論に基づき、自ら考え、理解できる2変りゆく経営環境の動きに強い関心を持ち、企業組織の中でリーダーシップをとって具体的な改善や解決の提案ができる、あるいは自らが事業を創出できる、この3つを目標にしています。				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
レポートや課題に対しては、原則としてレスポンスを活用します。ただし、期末レポートはこの限りではありません。				
実務経験の有無及び活用				
大学卒業後は、製薬会社、機械工具製造業社で勤務する中で経営学に対する興味を持ち、いまから三十数年前に、経済産業大臣が認定する「中小企業診断士」という資格を取得しました。その後経営コンサルティング会社に転職し、主として中小企業の経営コンサルティング業務に従事しました。そのなかで、社会人大学院でも学びました。 2002年に本学教員となりました。				
備考				
ありません。				